

学生の確保の見通し等を記載した書類

(1) 学生の確保の見通し及び申請者としての取組状況

① 学生の確保の見通し

ア 定員充足の見込み

湘南鎌倉医療大学（以下、本学）では、全国および地域における看護師養成大学の募集状況、近隣競合校による志願動向と定員充足状況、神奈川県内の高等学校卒業後の進路状況、高校生を対象とした本学への進学希望アンケート調査の結果など客観的なデータに加え、本学で展開する教育課程や学修環境、医療施設などでの実習体制を勘案し、看護学部看護学科の入学定員を100人、収容定員を400人とした。

日本看護協会が公表する「看護関係統計資料集」より、看護師養成大学における過去5年間（平成25年～平成29年）の志願倍率は、全国の6.2倍と比べ、本学が位置する神奈川県は7.1倍となっており、多くの志願者がいることを示している。また、入学定員充足率は全国、神奈川県ともに100%を上回る数値で推移していることから、看護師養成大学は安定した募集状況であることが伺える（資料1）。

神奈川県の学校基本調査より、神奈川県内の高等学校（全日制・定時制）を卒業したものは、過去5年間、6.5万人前後で推移している。そのうち大学（学部）へ進学した割合は微増傾向にあり、平成30年3月は57.0%となっている。一方で、短期大学（本科）、専修学校（専門課程）は僅かであるが減少傾向が続いており、高校卒業後の進路として、大学（学部）への進学が増えていることが伺える（資料2）。

なお、全国の18歳人口は今後10年間（平成30年から平成40年まで）で、9.2ポイントの減少が推計されているが、本学が位置する南関東は4.3ポイントの減少、神奈川県は4.0ポイントの減少に留まるため、安定的な募集活動を行える素地が十分にある地域であると考えている（資料3）。

神奈川県に所在する看護師養成大学の一般入試（一般入試とセンター試験利用入試）の志願動向を調べたところ、志願者数は平成26年の5,442人から、平成30年の6,314人と、増加傾向となっている。また、実質倍率（受験者数／合格者数）も平成26年の3.03倍から、平成30年の3.84倍と上昇しており、高い水準において選抜が行われていることが分かる（資料4）。なお、各大学の入学者、在籍者における充足状況も、多くの大学で充足率1.00を上回っており、神奈川県における看護師養成大学が、安定した学生確保を実現していることが確認できた（資料5）。

資料1～5の状況を踏まえ、本学が開学する際にもっとも受験生が多いと見込まれる平成30年度の高校2年生を対象に、進学希望アンケート調査を実施した。その結果、回収した7,115人のうち、467人が本学看護学部看護学科を「受験したい」と回答した。この「受験したい」と回答した467人に対し、本学を受験して合格した場合の入学意欲について質

問したところ、187人が「合格した場合、入学したい」と回答し、本学の入学定員100人を上回る入学意欲を示す回答が得られた（資料6）。

以上の状況を判断し、学生確保が十分に可能であると考え、入学定員を設定した。

## イ 定員充足の根拠となる客観的データの概要

### （資料1：看護師養成大学の募集状況）

日本看護協会が公表する看護関係統計資料集（平成25年～平成29年）より、全国および本学が位置する神奈川県における看護師養成大学の過去5年間の募集状況がわかる。まず、全国から見ると、学校数は平成25年の217校から、平成29年には255校と、5年間で38校の増加となっている。学校数の増加に伴い、入学定員数も平成25年の17,878人から、平成29年の22,656人と、5年間で4,778人の増加となっている。入学定員が増加している状況の中、志願者数は平成25年から平成29年にかけて、118,098人→127,152人→127,632人→131,868人→137,438人と増加傾向で推移しており、志願倍率は6.1～6.6倍の間の数値となっている。入学者充足率も106.0～108.4%を保っており、看護師養成大学は全国的に安定した募集状況であることが伺える。

次に、神奈川県の場合を見てみると、学校数は平成25年の9校から、平成29年には12校と、5年間で3校の増加となっている。また、入学定員数も平成25年の760人から、平成29年の1,080人と、5年間で320人の増加となっている。志願者数は平成25年から平成29年にかけて、5,845人→6,067人→7,207人→7,359人→7,121人と増加傾向で推移しており、学校数、入学定員の増加に伴い、志願者数も順調に伸びている状況である。さらに、志願倍率は6.6～7.9倍の間で推移しており、全国の志願倍率と比べ高い水準を保っている。入学者充足率も103.6～110.1%を保っており、神奈川県内における看護師養成大学の募集は、高い水準を保っている状況となっている。

### （資料2：神奈川県内の高校卒業者数と進学率の推移）

神奈川県の学校基本調査によると、平成30年3月に神奈川県内の高等学校（全日制・定時制）を卒業した者は66,244人おり、そのうち大学（学部）進学者は37,746人で、大学進学率は57.0%となっている。5年前（平成26年3月で、卒業者63,150人、そのうち大学（学部）進学者35,591人、大学進学率56.4%）と比較し、卒業者数は3,094人、大学（学部）進学者数は2,155人、大学進学率は0.6ポイント上昇している。なお、短期大学（本科）の進学率は0.7ポイント（平成26年の4.6%→平成30年の3.9%）、専修学校（専門課程）の進学率は0.4ポイント（平成26年の16.4%→平成30年の16.0%）それぞれ減少しており、大学のみが上昇傾向となっている状況である。

### **(資料3：18歳人口の将来推計（全国／南関東／神奈川）)**

我が国の18歳人口は全国的に減少が予想されているが、本学が位置する神奈川県においては、その進行が比較的緩やかとなっている。リクルート総研が公表する「18歳人口・進学率・残留率の推移 2017年」によると、全国の18歳人口は、平成30年の1,174,801人から、平成40年には1,066,235人となり、10年間で9.2ポイントの減少が推計されている。一方、神奈川県の18歳人口は、平成30年の79,969人から、平成40年には76,796人となり、10年間で4.0ポイントの減少に留まることから、全国と比べ安定的な募集活動を行える地域であると考えられる。

### **(資料4：近隣競合校による一般選抜の募集状況)**

神奈川県に所在する看護師養成大学の一般選抜（一般入試とセンター試験利用入試）の過去5年間の志願者、受験者、合格者および実質倍率（受験者数／合格者数）を集計した。現在、神奈川県に所在する看護師養成大学は12校あり、そのうち2校が公立大学、10校が私立大学となっている。

平成30年度の志願者数は6,314人であり、平成26年度の5,442人と比べ872人の増加となっている。また、平成30年度の受験者数は5,911人で、合格者数は1,539人のため、実質倍率は3.84倍である。平成28年の6,440人が過去5年間の志願者のピークであるが、その後もほぼ同じ規模を保っており、実質倍率は平成28年の3.24倍に対し、平成30年は3.84倍であることから、より高い水準で選抜が行われていることが伺え、安定した学生確保ができていると言える。

### **(資料5：近隣競合校による入学・在籍状況)**

上記の近隣競合校については、入学者および在籍者における定員充足状況も調べた。その結果、12校のうち10校で入学定員充足率が1.00を上回っており、多くの大学で安定的な学生確保がなされていることが確認できた。入学定員充足率が1.00に満たしていない東海大学については、入学者が1人増えれば、1.00を超える状況であり、収容定員充足率は1.00を上回っていることから、客観的に問題がないと考えている。また、収容定員充足率が1.00を満たしていない神奈川県立保健福祉大学については、入学定員充足率が1.00を上回っていることから、編入学（3年次編入で定員8人）での学生確保による影響であると予想される。さらに、入学定員充足率および収容定員充足率ともに1.00に満たない松蔭大学があるが、同じ厚木市にある神奈川工科大学が順調な学生確保を行っている状況から鑑み、地域的な問題ではないことが予測される。

神奈川県における看護師養成大学の募集状況および充足状況から、安定した学生確保ができていると言える。

**(資料6：湘南鎌倉医療大学(仮称)の設置に係るニーズアセスメント調査ご報告書 ①高校生アンケート調査)**

本学および本学が設置する看護学部看護学科におけるニーズを、客観的に、かつ的確に捉えるため、第三者機関に依頼し、アンケート調査を実施した。アンケート調査の概要は以下の通りである。

- ◆調査の目的：2020（平成32）年4月に設置計画中の湘南鎌倉医療大学（仮称）について、大学外の第三者機関によるアンケート調査を用いて、学生確保の見通しを測ることを目的とする。
- ◆調査期間：2018（平成30）年5月～9月
- ◆調査対象：神奈川県、静岡県、東京都、千葉県、埼玉県の高等学校（中等教育学校を含む）の2年に在籍している男女。（平成32年度の大学進学対象者）
- ◆調査方法：上記5県の高等学校1,011校に依頼した。各校の教職員の監督のもとでアンケートを実施し、アンケート用紙はその場で回収した。
- ◆調査内容：無記名、選択肢式9問。主な質問事項は、回答者の基本情報（性別、居住地）、興味・関心、本学への受験意欲・入学意欲など。
- ◆回収件数：7,115件（1,011校中校82校から回収、回収率8.1%）

問1で、居住地を質問したところ、アンケートの回答者7,115人のうち、本学が所在する「神奈川県」に居住する回答が73.1%にあたる5,203人で、1番多かった。なお、「東京都」、「静岡県」の神奈川県に隣接する2都県を含めると、回答者の9割以上を占める結果となっている。また、問3で、高校卒業後の進路について最も希望するものを質問したところ、1番多かったのが「大学」で、78.4%にあたる5,575人が回答していることから、本アンケート回答者の約8割が大学進学を希望していることが分かる。加えて、問4で興味がある分野について質問したところ、用意した14の選択肢のうち、「看護・医療」が20.1%にあたる1,427人が回答し、2番目に多い結果となった。

問5で、本学を受験したいと思うか質問したところ、6.6%にあたる467人が「受験したい」と回答し、本学の入学定員100人を大きく上回る高校2年生が、受験意欲を示した。さらに、本学を「受験したい」と回答した467人に対して、問8で、本学を受験して合格した場合、入学したいと思うか質問したところ、「合格した場合、入学したい」が187人、「合格した場合、併願大学の結果によっては入学したい」が267人だった。したがって、受験希望者の4割（187人）が本学に強い入学意欲を持っていることがわかった。この強い入学意欲を持っている187人を居住地別でクロス集計をしたところ、下記の表の通りとなった。

居住地	入学意欲	構成比
埼玉県	2	1.1%
千葉県	2	1.1%
東京都	11	5.9%
神奈川県	155	82.9%
静岡県	9	4.8%
その他	6	3.2%
無回答	2	1.1%
計	187	100.0%

この通り、本学に強い入学意欲を持っている187人のうち、82.9%にあたる155人が「神奈川県」に居住する高校2年生であり、本学の近隣に居住する高校2年生でも、入学定員を上回る入学意欲を得る結果となっている。なお、問8で「合格した場合、入学したい」と回答した187人のうち、問3で「1. 大学」と回答し、かつ問4で「1. 看護・医療」と回答した者の人数を集計すると110人であった。

以上の通り、高校2年生を対象としたアンケート調査において得られた回答結果を鑑み、本学が設置する看護学部看護学科の学生確保の見通しは、問題ないと判断している。

#### ウ 学生納付金の設定の考え方

学生納付金の設定については、本学を運営するために必要な財務的な視点に加え、近隣の看護師養成私立大学の金額を参考にし、入学希望者に対し大きな負担とならないよう、十分に配慮し、入学金200,000円（初年次のみ）、授業料1,000,000円、施設費300,000円、実習費200,000円で、初年度納付金の合計を1,700,000円とした。なお、近隣の看護師養成私立大学の初年次納付金の平均は1,747,200円であり、比較的低い金額設定としている（資料7）。

## ② 学生確保に向けた具体的な取組状況

### ア オープンキャンパス・入試説明会

認可後は、入試時期までに3回（9月～12月）、オープンキャンパスを予定している。オープンキャンパスでは、本学の学部学科の紹介や入試案内に加え、模擬授業や実習体験を通して、実際の授業がどのような内容・環境で行われるかを体感できる時間を設ける。さらに、受験生による入試や入学後の疑問・不安に対応できるよう個別相談が可能なブースを設置する。

なお、キャンパスの完成は平成32年2月を予定していることから、近隣のイベント会場等をオープンキャンパス会場として利用する。

また、受験希望者やその保護者を対象に、本学の入試に関する説明会を実施する。本学で

は、一般入試、推薦入試の選抜試験を行うことから、各入試内容について説明する。さらに、高校の進路担当教員向けの説明会も予定している。

#### イ 高校訪問活動

本学の認知向上に加え学部学科などの情報を宣伝するため、本学がある鎌倉市内の各高校や、神奈川県内の看護師養成大学に進学実績のある高校に対し、複数回訪問活動を行う予定である。訪問活動は担当者4、5名で体制を組み、訪問は主に進路担当である教員を対象に、認可前は構想内容の説明、認可後はポスターやチラシの掲示依頼や配布に加え、入試の説明を行うなど本学の情報を段階的に提供する。

#### ウ 校内説明会

許可のあった高校には、高校生やその保護者に向けた説明会を実施する。説明会では、本学の紹介をはじめ、認可後であれば入試の説明を行う。また、要望に応じて、出前授業や個別相談会を実施する。

#### エ 学外における進学ガイダンスの実施

業者が主催する進学イベントに参加し、本学の専用ブースにて進学ガイダンスの実施を予定している。進学イベントでは、本学の紹介やパンフレット、リーフレットの積極的な配布に加え、認可後には入試案内や個別相談に対応する。

#### オ 媒体を活用した広報活動

本学の紹介や、構想中の学部学科の内容を分かりやすく伝えるため、パンフレットやリーフレットを作成し、オープンキャンパスや高校訪問、各説明会などで配布する。また、受験生が進学先の検索の際に活用する進学情報誌や進学情報サイトにも掲載を予定しており、本学の認知度を高めるとともに、イベント告知など本学に関する様々な情報を発信する。

#### カ ホームページ

ホームページを通じて、本学の紹介を始め、最新情報の発信を行う。また、ホームページは本学に興味関心を持った受験生の閲覧が想定されるため、分かりやすいデザインに設定するとともに、資料請求に応じられるなど、工夫を凝らす。

### (2) 人材需要の動向等社会の要請

#### ①人材の養成に関する目的その他の教育研究上の目的（概要）

##### ア 教育研究上の目的

本学は、「幅広い教養と哲学的思考を基盤とする豊かな人間性・高い倫理性をもち、医療技術の進歩・発展、ヒューマンケアへの意識の変化、地域社会のケアニーズの多様化等に対応できる高度な知識・技術を身につけた医療専門職の育成」を目的とする。

#### イ 育成する人材像

上記の教育研究上の目的を踏まえ、本学看護学部看護学科では次のような人材を育成する。

- I. 哲学的思考を基盤とした人間理解を深め、他を思いやる豊かな人間性をはぐくみ、幅広い教養を身につけ自己の品格を磨き、医療人として必要な倫理観、看護実践に必要なマナー・一般常識・生活能力を身につけた看護職
- II. 実践現場において関連する人々との十分なコミュニケーションがとれる能力を持ち、多職種連携において看護の専門的役割を果たすことのできる看護職
- III. 修得した最新の看護学の知識・技術をもとに科学的根拠に基づいた判断力・思考力を持って看護実践を行うことができる看護職
- IV. 地域で暮らす人々の生活や文化理解を深め、地域の特性をとらえ、地域で暮らす人々への健康支援・生活支援に積極的にかかわり貢献できる看護職
- V. グローバル化の進展を視野に入れつつ、生涯にわたって看護ケアの質向上について探求・研鑽し、看護学の発展に寄与できる看護職

②上記①が社会的、地域的な人材需要の動向等を踏まえているものであることの客観的な根拠

#### ア 社会的な看護師の需要見通し

日本看護協会の「看護関係統計資料集」によると、全国の看護師数はこの10年間で一貫して増加している状況（平成19年末の882,819人から、平成28年には1,210,665人）となっており、看護師への需要が継続的に続いていることが分かる（資料8）。

また、厚生労働省の「職業安定業務統計」より、「保健師、助産師、看護師」の平成29年度の月別有効求人倍率（常用、除パート）は2.5倍前後で推移している。職業全体の推移が1.3倍前後であることから、「保健師、助産師、看護師」における需要の高さが伺える（資料9）。

厚生労働省が公表した「第七次看護職員需給見通しに関する検討会報告書」のなかで、長期的な看護職員需給見通しの推計が出されている。これによると、平成37年の看護職員の供給数が約179万8千人であるのに対し、現在のサービス提供体制を前提とするシナリオでの需要数が約191万8千人から約199万7千人、機能分化し、医療資源を一層集中投入するシナリオでの需要数が約183万9千人から約191万9千人となっており、将来におけ

る看護職員の不足が予想されることから、看護職員の養成は急務となっている（資料 10：P.6「3. 長期的な看護職員需給見通しの推計」）。

#### イ 地域的な看護師の需要見通し

厚生労働省の「平成 28 年衛生行政報告例（修業医療関係者）の概況」によると、本学が位置する神奈川県の人口 10 万人当たりの看護師数は 686.6 人で、47 都道府県のなかで 3 番目に少ない状況となっている（資料 11）。また、神奈川県健康医療局がまとめた「神奈川県における看護教育のあり方・最終報告」にて、神奈川県内の病院に勤務する看護職員の離職率が 14.0%と、全国平均の 11.2%より高い状況であり、看護職員数の不足と高い離職率が課題である（資料 12：p.1「(1) 看護職員の現状と課題」）と指摘しており、神奈川県にとって、看護師の養成は重要な課題であることが確認できる。

内閣府が公表する「平成 30 年版高齢社会白書（全体版）」によると、平成 29 年 10 月 1 日時点での我が国の総人口は 1 億 2,671 万人で、そのうち 65 歳以上の人口は 3,515 万人で、高齢化率（総人口のうち 65 歳以上人口が占める割合）は 27.7%となっている。この高齢化率は、65 歳以上の人口が 3,935 万人でピークを迎える平成 54 年以降も上昇を続け、平成 77 年には 38.4%に達し、国民の約 2.6 人に 1 人が 65 歳以上の者となる社会が到来すると推計されている（資料 13）。一般的に、高齢になると怪我や病気のリスクは高まるため、高齢化率の上昇と比例して、怪我や病気に対応する看護師の需要も高まると考えられる。神奈川県では、平成 29 年時点の高齢化率 24.8%から、平成 57 年には 35.2%と 10.4 ポイント上昇し、全国的にみても比較的高い伸び率であることが「平成 30 年版高齢社会白書（全体版）」にて推計されていることから（資料 14）、神奈川県における看護師の需要は今後も高まると考えられる。

#### ウ 地域的な保健師の需要見通し

前述イで述べた通り、我が国では長期的な高齢社会を迎えており、健康な高齢期を送るため、内閣府を中心に、国民の健康寿命の延伸を取り組み、世界に先駆けて生涯現役社会の実現を目指している。また、「平成 30 年版高齢社会白書（全体版）」にも指摘されている通り、平成 27 年度に過去最高水準の 114 兆 8,596 億円となった社会保障費は今度も増加傾向になると予測されており、健康寿命の延伸は、我が国の財政圧迫への抑制となりえる。

厚生労働省では、国民の健康の増進に関する基本的な方向性や目標に関する各事項を定めることを目的に、「21 世紀における国民健康づくり運動（健康日本 21）」を策定し、健康寿命の延伸に取り組んでいる。この健康日本 21 では健康寿命の延伸について具体的な目標を示しており、平成 22 年の男性：70.42 年、女性：73.62 年から、平成 34 年度にはそれぞれ平均寿命の増加分を上回る健康寿命の増加を実現させるとしている。

厚生労働省にて行われた第 11 回健康日本 21（第二次）推進専門委員会にて配布された資料より、2016 年における都道府県別の健康寿命の数値が把握できるが、神奈川県は男性：



72.30年（全国16番目、全国平均は72.05年）、女性：74.63年（全国31番目、全国平均は74.94年）となっており、男性は全国平均を上回っているのに対し、女性は下回っていることから、男女間で違いが生まれている状況となっている（資料15）。

健康日本21（第二次）において、健康増進計画の策定にあたり、「都道府県や市町村、医療保険者、学校保健関係者、産業保健関係者、健康づくりに取り組む企業などの関係者の連携を行う必要がある（P.5参照）」とし、さらに、「保健所については、健康格差の縮小を図ること等を目的とした健康情報を収集分析し、地域の住民や関係者に提供するとともに、地域の実情に応じ、市町村における市町村健康増進計画の策定の支援を行う（P.5参照）」必要があるとしている。保健所には、医療や衛生に関連した各専門職員が配置されているが、とりわけ、地域の健康づくりや地域に顕在している健康課題を把握し、解決のための計画立案、評価を行う保健師は、我が国の健康寿命の延伸への取り組みにおいて重要な存在であり、中心的な役割を担うことが考えられるため、本学における十分なコミュニケーションがとれる能力を持ち、多職種との連携において看護の専門的役割を果たすことのできる人材の養成は、地域にとって必要である。なお、厚生労働省の「平成28年衛生行政報告例（修業医療関係者）の概況」によると、本学が位置する神奈川県の人10万人当たりの保健師数は23.5人で、47都道府県のなかで最も少ない状況であることから、神奈川県における保健師の需要は高いと考えられる（資料16）。

#### エ 湘南鎌倉医療大学設置構想についての採用意向調査

本学および本学が設置する看護学部看護学科における採用ニーズを、客観的に、かつ的確に捉えるため、第三者機関に依頼し、アンケート調査を実施した。アンケート調査の概要は以下の通りである（資料6：湘南鎌倉医療大学（仮称）の設置に係るニーズアセスメント調査 ②人材需要アンケート調査）。

- ◆調査の目的：2020（平成32）年4月に設置計画中の湘南鎌倉医療大学（仮称）について、大学外の第三者機関によるアンケート調査を用いて、卒業生の社会的人材需要を測ることを目的とする。
- ◆調査期間：2018（平成30）年5月～7月
- ◆調査対象：湘南鎌倉医療大学（仮称）の卒業生の採用が期待できる神奈川県内の病院、訪問看護ステーション、介護老人保健施設、介護老人福祉施設、合計1,271件。
- ◆調査方法：施設の人事・採用担当者に書面で依頼し、アンケート用紙を郵便で回収した。
- ◆調査内容：無記名（施設名は任意）、選択肢式9問、記述式1問。主な質問事項は、回答者の基本情報（施設の種類、所在地、看護師数）、新卒採用の

状況、本学卒業生の採用意欲、本学へ期待する点、要望など。

◆回収件数：287件（回収率 22.6%）

問4の機関・施設における「看護師」の充足状況についての質問に対し、「不足している」に108件（37.6%）、「どちらかと言えば不足している」に106件（36.9%）が回答しており、7割以上の機関・施設において「看護師」が不足している状況であることが示された。本アンケート調査は問1の回答結果の通り、99.0%が神奈川県に所在している機関・施設であることから、本学が位置する地域における看護師の供給は急務であると考えられる。

問8において、本学看護学部看護学科の卒業生における採用意欲を質問したところ、「採用したい。」に89件（31.0%）、「採用を検討したい。」に102件（35.5%）、「どちらとも言えない。」に81件（28.2%）、「採用しない。」に13件（4.5%）の回答となった。「採用したい。」「採用を検討したい。」の合計は191件（66.6%）であり、7割弱の機関・施設が、本学看護学部看護学科の卒業生に対する採用意欲を示す結果となった。

また、採用意欲を示した191件には採用可能と思われる人数を質問しており、「1人」が52件、「2人」が57件、「3人」が20件、「4人」が5件、「5人～9人」が8件、「10人以上」が3件、「人数は未確定」が46件という回答結果となった。この回答結果（「採用可能人数」と「回答件数」）をまとめると、以下の表となる。

採用可能人数	件数	合計人数
1人	52件	1人×52件= 52人
2人	57件	2人×57件=114人
3人	20件	3人×20件= 60人
4人	5件	4人× 5件= 20人
5人～9人	8件	5人× 8件= 40人
10人以上	3件	10人× 3件= 30人
人数は未確定	46件	1人×46件= 46人
計	191件	362人

採用可能人数の合計は362人となり、本学看護学部看護学科の入学定員100人の3.6倍にあたる採用意欲を、アンケート調査を通じて得られる結果となった。

以上の通り、公表されている統計調査や各資料に加え、本学が位置する神奈川県に所在する機関・施設を対象としたアンケート調査において得られた回答結果を鑑み、本学が養成する人材に対して、社会的、地域的な需要は十分にあり、卒業後の就職に問題はないと考えている。

学生の確保の見通し等を記載した書類 資料目次

- 資料 1 : 看護師養成大学の募集状況
- 資料 2 : 神奈川県内の高校卒業者数と進学率の推移
- 資料 3 : 18 歳人口の将来推計 (全国 / 南関東 / 神奈川)
- 資料 4 : 近隣競合校による一般選抜の募集状況
- 資料 5 : 近隣競合校による入学・在籍状況
- 資料 6 : 湘南鎌倉医療大学 (仮称) の設置に係るニーズアセスメント調査ご報告書
- 資料 7 : 神奈川県内に所在する看護師養成大学の学費一覧
- 資料 8 : 全国の看護師数の推移
- 資料 9 : 職業別有効求人倍率 (パートタイムを除く常用)
- 資料 10 : 第七次看護職員需給見通しに関する検討会報告書 (平成 22 年 12 月)
- 資料 11 : 平成 28 年衛生行政報告例 (就業医療関係者) の概況
- 資料 12 : 神奈川県における看護教育のあり方最終報告 (平成 24 年 12 月)
- 資料 13 : 平成 30 年版高齢社会白書 (全体版) (2~6 ページ)
- 資料 14 : 平成 30 年版高齢社会白書 (全体版) (10~11 ページ)
- 資料 15 : 日常生活に制限のない時間の平均
- (第 11 回健康日本 21 (第二次) 推進専門委員会 配布資料)
- 資料 16 : 平成 28 年衛生行政報告例 (就業医療関係者) の概況

以上

## 看護師養成大学の募集状況

## 【全国】

	学校数	入学定員数 (A)	志願者数 (B)	受験者数 (C)	合格者数	入学者数 (D)	志願倍率 (B/A)	競争率 (C/D)	充足率 (D/A)
平成25年	217	17,878	118,098	108,708	31,531	19,376	6.6	5.6	108.4%
平成26年	234	19,674	127,152	116,275	36,289	21,223	6.5	5.5	107.9%
平成27年	249	21,034	127,632	116,903	39,861	22,512	6.1	5.2	107.0%
平成28年	255	21,619	131,868	120,796	41,164	23,106	6.1	5.2	106.9%
平成29年	255	22,656	137,438	126,497	43,171	24,007	6.1	5.3	106.0%
平均	242	20,572	128,438	117,836	38,403	22,045	6.2	5.3	107.2%
増加 (H25→H29)	38	4,778	19,340	17,789	11,640	4,631			

## 【神奈川県】

	学校数	入学定員数 (A)	志願者数 (B)	受験者数 (C)	合格者数	入学者数 (D)	志願倍率 (B/A)	実質倍率 (C/D)	充足率 (D/A)
平成25年	9	760	5,845	5,495	1,520	837	7.7	6.6	110.1%
平成26年	9	770	6,067	5,618	1,685	834	7.9	6.7	108.3%
平成27年	12	1,060	7,207	6,623	2,097	1,114	6.8	5.9	105.1%
平成28年	12	1,060	7,359	6,822	2,220	1,098	6.9	6.2	103.6%
平成29年	12	1,080	7,121	6,692	2,332	1,135	6.6	5.9	105.1%
平均	11	946	6,720	6,250	1,971	1,004	7.1	6.2	106.1%
増加 (H25→H29)	3	320	1,276	1,197	812	298			

出典：日本看護協会出版会「看護関係統計資料集(平成25年～平成29年)」

## 神奈川県内の高校卒業生数と進学率の推移

卒業年月	卒業生数 (人)	進学者数(人)			進学率(%)		
		大学 (学部)	短期大学 (本科)	専修学校 (専門課程)	大学 (学部)	短期大学 (本科)	専修学校 (専門課程)
平成26年3月	63,150	35,591	2,884	10,344	56.4	4.6	16.4
平成27年3月	64,590	36,905	2,904	10,656	57.1	4.5	16.5
平成28年3月	65,311	37,324	2,781	10,455	57.1	4.3	16.0
平成29年3月	66,400	37,941	2,703	10,534	57.1	4.1	15.9
平成30年3月(速報値)	66,244	37,746	2,590	10,601	57.0	3.9	16.0

注) 上記は高等学校の全日制および定時制を卒業した人数

出典: 神奈川県 学校基本調査

## 【全国】

	卒業生数 (人)	進学者数(人)			進学率(%)		
		大学 (学部)	短期大学 (本科)	専修学校 (専門課程)	大学 (学部)	短期大学 (本科)	専修学校 (専門課程)
平成26年3月	1,047,392	502,279	55,924	178,530	48.0	5.3	17.0
平成27年3月	1,064,376	519,132	55,620	177,827	48.8	5.2	16.7
平成28年3月	1,059,266	521,320	53,273	173,396	49.2	5.0	16.4
平成29年3月	1,069,568	528,686	51,426	173,676	49.4	4.8	16.2
平成30年3月(速報値)	1,056,475	524,135	48,708	169,599	49.6	4.6	16.1

注) 上記は高等学校の全日制および定時制を卒業した人数

出典: 文部科学省 学校基本調査

## 18歳人口の将来推計(全国／南関東／神奈川)

		2018年 平成30年	2019年 平成31年	2020年 平成32年	2021年 平成33年	2022年 平成34年	2023年 平成35年	2024年 平成36年	2025年 平成37年	2026年 平成38年	2027年 平成39年	2028年 平成40年	増加率 (平成30年→平成 40年)
全国	人数(人)	1,174,801	1,167,264	1,138,252	1,117,821	1,093,733	1,063,487	1,090,217	1,091,937	1,083,658	1,067,881	1,066,235	90.8%
	平成30年対比(%)	100.0	99.4	96.9	95.1	93.1	90.5	92.8	92.9	92.2	90.9	90.8	
南関東	人数(人)	306,595	303,812	300,812	297,703	292,454	285,268	294,226	296,534	295,171	293,761	293,449	95.7%
	平成30年対比(%)	100.0	99.1	98.1	97.1	95.4	93.0	96.0	96.7	96.3	95.8	95.7	
神奈川	人数(人)	79,969	78,767	78,197	77,534	75,784	75,599	77,740	78,297	77,622	76,583	76,796	96.0%
	平成30年対比(%)	100.0	98.5	97.8	97.0	94.8	94.5	97.2	97.9	97.1	95.8	96.0	

出典:リクルート総研 18歳人口・進学率・残留率の推移 2017年

## 近隣競合校による一般選抜の募集状況

大学名	学部・学科名	所在地	入学定員※	H30募集人員	志願受験合格倍率	H26	H27	H28	H29	H30	5年間平均
神奈川県立保健福祉大学	保健福祉学部 看護学科	横須賀市	90	45	志願者数	293	370	258	279	280	296
					受験者数	189	248	153	181	181	190
					合格者数	59	55	58	59	53	57
					実質倍率	3.20	4.51	2.64	3.07	3.42	3.35
横浜市立大学	医学部 看護学科	横浜市	100	70	志願者数	169	202	167	165	191	179
					受験者数	157	189	157	156	175	167
					合格者数	86	78	80	91	91	85
					実質倍率	1.83	2.42	1.96	1.71	1.92	1.96
慶應義塾大学	看護医療学部 看護学科	藤沢市	100	70	志願者数	622	713	775	718	694	704
					受験者数	568	624	691	655	637	635
					合格者数	177	165	171	170	156	168
					実質倍率	3.21	3.78	4.04	3.85	4.08	3.78
北里大学	看護学部 看護学科	相模原市	120	70	志願者数	902	872	923	973	835	901
					受験者数	879	823	875	928	812	863
					合格者数	176	208	218	233	199	207
					実質倍率	4.99	3.96	4.01	3.98	4.08	4.18
東海大学	医学部看護学科 (～H29までは健康科学部看護学科)	伊勢原市	85	57	志願者数	769	530	1,116	906	1,299	924
					受験者数	697	506	1,010	833	1,214	852
					合格者数	112	89	128	130	149	122
					実質倍率	6.22	5.69	7.89	6.41	8.15	7.01
国際医療福祉大学	小田原保健医療学部 看護学科	小田原市	80	43	志願者数	594	593	559	640	605	598
					受験者数	585	580	548	623	592	586
					合格者数	109	148	153	156	139	141
					実質倍率	5.37	3.92	3.58	3.99	4.26	4.15
昭和大学	保健医療学部 看護学科	横浜市	95	65	志願者数	599	868	651	654	785	711
					受験者数	555	817	628	632	746	676
					合格者数	189	191	197	209	195	196
					実質倍率	2.94	4.28	3.19	3.02	3.83	3.44
関東学院大学	看護学部 看護学科	横浜市	80	39	志願者数	1,046	1,022	967	701	595	866
					受験者数	—	931	810	656	566	741
					合格者数	286	264	337	150	125	232
					実質倍率	—	3.53	2.40	4.37	4.53	3.19
神奈川工科大学	看護学部 看護学科	厚木市	80	62	志願者数	—	280	260	378	376	324
					受験者数	—	265	243	363	398	317
					合格者数	—	103	147	210	157	154
					実質倍率	—	2.57	1.65	1.73	2.54	2.06
湘南医療大学	保健医療学部 看護学科	横浜市	80	40	志願者数	—	330	379	334	423	367
					受験者数	—	282	358	322	382	336
					合格者数	—	137	84	182	108	128
					実質倍率	—	2.06	4.26	1.77	3.54	2.63
横浜創英大学	看護学部 看護学科	横浜市	80	40	志願者数	448	462	385	390	231	383
					受験者数	415	426	367	378	208	359
					合格者数	139	151	230	233	167	184
					実質倍率	2.99	2.82	1.60	1.62	1.25	1.95
松蔭大学	看護学部 看護学科	厚木市	100	53	志願者数	—	—	—	—	—	—
					受験者数	—	—	—	—	—	—
					合格者数	—	—	—	—	—	—
					実質倍率	—	—	—	—	—	—
合計			1,090	654	志願者数	5,442	6,242	6,440	6,138	6,314	6,115
					受験者数	4,045	5,691	5,840	5,727	5,911	5,443
					合格者数	1,333	1,589	1,803	1,823	1,539	1,617
					実質倍率	3.03	3.58	3.24	3.14	3.84	3.37

※入学定員は全入試方式の合計(一般、センター、AO、推薦)

出典:河合塾「ガイドライン」2014～2018年版

## 近隣競合校による入学・在籍状況

大学名	学部・学科名	所在地	入学状況				在籍状況			
			入学定員	入学者	入学定員充足率	年度	収容定員	在籍者数	収容定員充足率	年度
神奈川県立保健福祉大学	保健福祉学部 看護学科	横須賀市	90	91	1.01	H30年度	376	368	0.98	H30年度
横浜市立大学	医学部 看護学科	横浜市	100	101	1.01	H29年度	400	407	1.02	H29年度
慶應義塾大学	看護医療学部 看護学科	藤沢市	100	107	1.07	H30年度	415	434	1.05	H30年度
北里大学	看護学部 看護学科	相模原市	120	129	1.08	H30年度	470	503	1.07	H30年度
東海大学	医学部看護学科 (～H29までは健康科学部看護学科)	伊勢原市	85	84	0.99	H30年度	340	344	1.01	H30年度
国際医療福祉大学	小田原保健医療学部 看護学科	小田原市	80	86	1.08	H30年度	320	337	1.05	H30年度
昭和大学	保健医療学部 看護学科	横浜市	95	98	1.03	H30年度	400	412	1.03	H30年度
関東学院大学	看護学部 看護学科	横浜市	80	81	1.01	H30年度	320	362	1.13	H30年度
神奈川工科大学	看護学部 看護学科	厚木市	80	88	1.10	H30年度	320	335	1.05	H30年度
湘南医療大学	保健医療学部 看護学科	横浜市	80	85	1.06	H30年度	340	360	1.06	H30年度
横浜創英大学	看護学部 看護学科	横浜市	80	88	1.10	H30年度	320	352	1.10	H30年度
松蔭大学	看護学部 看護学科	厚木市	100	75	0.75	H30年度	400	231	0.58	H30年度

平均 90.8 92.8

出典:各大学ホームページの情報公開より